



伏出張印

三浦

杉田屋全書左刊

三浦屋全書左刊

三浦屋全書左刊

三浦屋全書左刊

三浦屋全書左刊

三浦屋全書左刊

414
A 579

大正十一年四月
限債書庫

1792



仰
 汎軌
 神宮
 道
 難
 此

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)

象
 道
 難
 此
 加
 所
 隙
 師
 口
 一
 事

中野

度河縣度河縣... 入縣... 仰... 汎軌... 神宮... 道... 難... 頻...

本館... 中野...

象... 道... 加... 予... 隊... 口... 列... 卒...

海入系四り市名不流之
近う擁こむ可也中伝は
さうに中多面の以及る痛
産ち系二四濟味
以制産ハハ了申是
多格也成二世と度合此
輪古と印と中生を
如之徳入外不速也景

た不保了了下示波あり
長谷川ありとも此の
西左伝と書きこむるなり
伏休出産ハ其類り所兵
縣下道達五系了了院去
刺出之所伏休水良方
一ノ一ノ一ノ一ノ一ノ一
可丁地由生と云ふは
今平田と云ふは

右新影と云ふは
相取所ハ知所
龍知ありと云ふ

多分作...尾洲大急杉浦...
信州...
...

後今唯...
分四日市...
...

...

...

...

壬申正月二日記

別後弟三子

皇國基本藝備大典 珠城會

御宇傳昭輝為中代創略之十餘宮以鎮座

祚為在假千教千年今日主內國以銘覆

社為述古後季一傳之追之少中世以降郭

稅間加之傳堂宴延漸去及御後古之良

機會立到億兆之人民赤子如逢父母暗

夜之如得燈有志輩感佩共志之候然

朝廷何上者欲奉楸

徽慮候哉追之万国文際終使乘輿幸異

域則其藉手矣秋欲以廢 皇身之迹亦已至

彰也見其集 皇國固有之心所溢也

比日諸道所設神宮所動座祀為在趣熟心

考之師洋行社為在候件所治定就而者師

旨守 神宮奉奉奉集策外國起ル志

神宮異域奉成乘輿ノ結構ニ廟堂ノ評

後可有之難計之形有志輩ノ傍觀スレ不堪

也依之月志ノ輩先ノ神宮守衛奉成神宮法

勅歴ニ申迫ニ無ニ御洋行奉止候件ニ申之度

當地正兵ノ操込候事ニ法坐候間何卒縣廳

ニおろし御月志被成下有志北軍正忠御侍察

備事怨願候誠思被控願旨禮言

有志北軍

度會縣

法中

第二号

當地今般義兵ノ操込候事土地敷行可致事

而建設ヲ無ニ全ク

兩大神宮了守衛之內祝有之候東京は西座
社在候以事は天下一般に人民有志之者
朝廷へ申上度事有之は集心し候事は間
其勤操無之土地人民家業每心配古宮了
申候依之心得違無之秋末迄不使候了
連事

幸事上青井公有志比筆

七通

中組年寄中

佐々木汎軌

大嶋多義人

杉浦 登

守屋第郎

右四名之指事名中首謀之者乎
縣廳へ在候事揚り候者也

去丁未年... 此所... 正... 一...

正...

〇 権守山下菅

上り山

全今事 印中

此書未了件は後全事の事知し候
候也 此件は村郡長事候事
中事候事多向申候事古邊長事
五知り也

大正十一年四月

正二六日第十子之領事
歸座下事今之福見
五通所領事也今新
同所上役事群集川縣座
廻連事、致し以事知
尋問事候事、此中書令
候也
今般事候事、舊編廿二
白紙也、事候事、清
清店、或、或、或、或、或

鄙部ノ仰止也... 日追... 解衣類ヲ換... 掛... 此... 踏... 者... 無... 第...

致... 不... 其... 律... 茲... 少... 神... 多... 道...

送物多々必祀廟之掛分向到後之縣廟
大相違之控判難之少宮自之何分市
内年載了後年如竹香画一作五種之村
庙並了之石堂之及多々之東正月甲申
拜号了原取多如美引物之去日返了之侍且是
之新之加初の如也下批出分多々一日新之能月川六
他知廟之少之取之海内之祀廟之抱込之集市
掛合振大之如遠之何分也
布之の作之太之控判之之何分令之廿八日

四日市へ舟船廿九日初段物之控判之其毎之
之觸之座多々之如分控判之之初段下向取
分所之取之右之取之之之之之之之之之
佐之之士之之之之之之之之之之之之之
有之之之之之之之之之之之之之之之
考之之之之之之之之之之之之之之之
他之之之之之之之之之之之之之之之
口之之之之之之之之之之之之之之之
口之之之之之之之之之之之之之之之

為之接...

一 久其兵...

一 久其兵...

右...

一 久其兵...

一 久其兵...

一 久其兵...

一 久其兵...

一 久其兵...

一 久其兵...

一 久其兵...

一 久其兵...

一 久其兵...

一 久其兵...

一 久其兵...

一 久其兵...

一 久其兵...

一 久其兵...

一 徒者下流下... 徒者下流下... 徒者下流下...

一 徒者下流下... 徒者下流下... 徒者下流下...

一 徒者下流下... 徒者下流下... 徒者下流下...

一 徒者下流下... 徒者下流下... 徒者下流下...

一 徒者下流下... 徒者下流下... 徒者下流下...

一 徒者下流下... 徒者下流下... 徒者下流下...

一 徒者下流下... 徒者下流下... 徒者下流下...

一 徒者下流下... 徒者下流下... 徒者下流下...

一 徒者下流下... 徒者下流下... 徒者下流下...

一 徒者下流下... 徒者下流下... 徒者下流下...

一 徒者下流下... 徒者下流下... 徒者下流下...

一 徒者下流下... 徒者下流下... 徒者下流下...

一 徒者下流下... 徒者下流下... 徒者下流下...

一 徒者下流下... 徒者下流下... 徒者下流下...

一 徒者下流下... 徒者下流下... 徒者下流下...

奈良縣

大正九年四月一日

松本松太郎

松本松太郎

松本松太郎